世界の気候帯と雨温図

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿ 月 ＿＿＿＿ 日

今日の問い

世界の気候は、どのように分かれているのだろう。

下線に当てはまる語句を書こう。同じ番号には同じ語句が入る。左の欄の説明もヒントにしよう。

1 五つの気候帯

気候帯

7 気温と降水量のちがいから、世界の気候を五つに分けたもの。

15 標高が高いため、同じ緯度の低地より気温が低い気候。

世界の気候は、気温と降水量のちがいから、[1]＿＿＿・[2]＿＿＿・[3]＿＿＿・[4]＿＿＿（[5]＿＿＿）・[6]＿＿＿の五つの[7]＿＿＿に分けられる。気候帯は、赤道付近の熱帯から両極に近い寒帯まで、おおむね[8]＿＿＿にそって帯のように並んでいる。

熱帯には、一年中雨が多い[9]＿＿＿と、雨季と乾季のある[10]＿＿＿がある。乾燥帯には、ほとんど雨が降らない[11]＿＿＿と、たけの短い草原が広がる[12]＿＿＿がある。冷帯は北半球の高緯度にだけ見られ、寒帯には[13]＿＿＿と[14]＿＿＿がある。

また、アンデス山脈などの標高の高い所には、同じ緯度の低地より気温の低い[15]＿＿＿が見られる。

2 雨温図の読み方

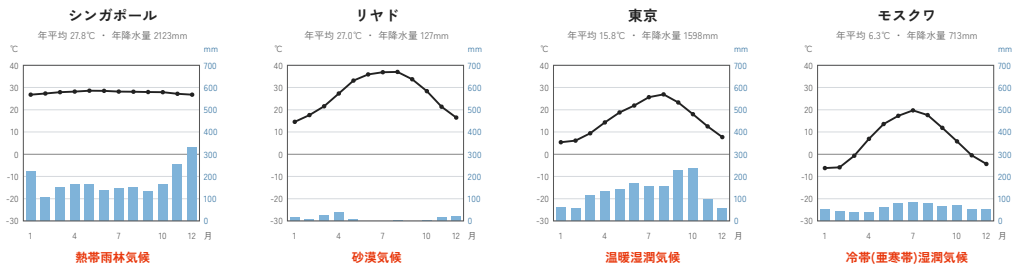
雨温図

16 月ごとの平均気温と降水量を、一つに表したグラフ。

3 四季の変化があり、人口の多い地域が集まる気候帯。

[16]＿＿＿は、月ごとの平均気温を[17]＿＿＿で、降水量を[18]＿＿＿で表したものである。気温は左の目もりで、降水量は右の目もりで読む。気温が0℃を下回る月があるか、雨の多い月と少ない月がはっきり分かれているかに注目すると、その土地の気候の特色がつかみやすい。

温帯には、夏に雨が多い[19]＿＿＿、夏に乾燥する[20]＿＿＿、高緯度のわりに冬も暖かい[21]＿＿＿などがある。下の雨温図を見くらべると、気温の高さや雨の多さが気候帯ごとにちがうことがわかる。



気温（折れ線・左の目もり）と降水量（棒・右の目もり）。どの都市も同じ目もり。1991～2020年の平年値（気象庁ほか）。

できた ＿＿＿ / 21

ちりつもドリル
学校・家庭・塾・教室での印刷と配布は自由です。ウェブへの掲載・販売はできません。